



2019年5月15日

各位

会社名 株式会社ライトアップ
代表者名 代表取締役社長 白石 崇
(コード：6580 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 最高財務責任者 村越 亨
(TEL. 03-5784-0700)

2019年3月期通期業績予想と実績値との差異 及び役員報酬の減額に関するお知らせ

2018年6月22日に「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」において開示いたしました2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の通期業績予想数値と本日公表の実績値の間に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、本日発表いたしました「2019年3月期決算短信(非連結)」の業績内容を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、役員報酬の減額を実施することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 個別業績予想数値と実績値との差異について

(1) 2019年3月期通期個別業績予想数値と実績値との差異(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,698	百万円 421	百万円 401	百万円 278	円 銭 99.35
今回実績(B)	1,612	277	264	191	68.20
増減額(B-A)	△86	△144	△137	△87	—
増減率(%)	△5.1	△34.2	△34.2	△31.3	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	1,606	426	423	292	109.20

(注) 当社は、2018年6月22日付で東京証券取引所マザーズ市場へ上場しましたが、前回発表予想の1株当たり当期純利益は、公募株式数(150,000株)を考慮した予定期中平均株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資に係る株式数(71,000株)は考慮しておりません。一方、今回発表の1株当たり当期純利益は公募株式数(150,000株)及びオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資に係る株式数(71,000株)を考慮した期中平均株式数により算出しております。

(2) 差異の理由

当社のクラウドソリューション事業において、3月を予定していた大型のコンサルティング案件の納品検収が翌期に期ずれいたしました。さらに、例年3月に集中する公的支援制度活用関連のコンサルティング売上が前事業年度の実績を下回る結果となりました。また、第3四半期より本格的に提供を開始したHRサービス商材は、年間を通じて大きく成長したものの、第4四半期のコンサルティング売上の期ずれ・低調を補うまでには至りませんでした。

上記の収益面に加えて費用面におきましても、期末の売上債権に対する貸倒引当金繰入額が想定を上回ることになりました。

以上の結果、2018年6月22日に公表いたしました業績予想値と実績値に差異が生じることになりました。

2. 役員報酬の減額について

当社は本日発表いたしました「2019年3月期決算短信(非連結)」の業績内容を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下のとおり役員報酬の減額を実施いたします。

(1) 役員報酬の減額の内容

代表取締役社長 白石 崇 月額報酬の10%を減額

(2) 減額対象期間

2019年6月から2019年8月までの3か月間

経営陣一同、今後の成長のために全力を尽くしてまいります。今後とも株主の皆様をはじめとする関係各位のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上